

NO. 8

国際MRA日本協会機関誌

6 和 51 年 月 25 際MRA日本協会 発 行 玉 行 者 発 柳 沢 錬 造 (非売品) TEL. 03-374-7600

INTERNATIONAL MRA ASSOCIATION OF JAPAN



オタワ会議に集まった7人の酋長

を入れると、

が日本軍の銃口を背に、

よたよたと行軍している場面がスクリー

骨と皮にやせこけた英豪軍

「戦場に架ける

館内は憎悪で放射能をおびたような異

っぱいに写し出されると、

橋」をイギリス青年と見たことがある。

筆者は、

アメリカの南部の中心都市アトランタで

新しい民

族の誕生

北米に吹く精神革命の新風

思いをはせる日本人は少い。 切りされるそれらの映画にどんな気持を抱いているのだろうか、 画特有の見せ場だ。北米に住むインディアンの人々は次から次に封 ている残酷シーンが目に入ってくる。西部劇映 騎兵隊がインディアン達を谷間に

と感想を洩らしておられたが、 変え、 気付かせてもらった。 という実感を持ったのはアメリカ各地を訪れたときであった。 やりと協力の一家のような新しい社会づくりをやっています。 生々して覚えている インディアンの酋長がいた。開拓者達は彼をブルージャケットと呼 様な霧囲気になり、 ージャケットさんが東京のMRAハウスに来ておられた。 んだ。それが酋長の名前となった。この 「白人達が変わるとは夢にも思いませんでした。MRAは白人達を 白人達が幌馬車に乗って西部にやって来た頃、 私たちも変わり、 相手と同じ間違いを自分はしてしまうものだ」ということも MRAは世界共通の新しい民族を生んでいるようなものです 相手が悪くなると、 背すじが氷をあてられたようにゾーっと冷たくなったのを 今にも私は背後から締め殺されるのではない 共に人間として友として差別の無い、 自分が正しくなったような錯覚をおこ それが如何に革命的なことであるか 一族のお嬢さんであるブル 青い シャツを着た 彼女は、 思い

知っていただき、 の青年達と日夜、 西部劇映画を製作する人々のかたくな心への回答であり挑戦である。 族から温かい歓迎をうけ、 ている。この「アジアの歌」の されたからである。この一行はカナダ各州政府や各インディアン部 きな反響を残した「アジアの歌」と青年達の一行が、 北米に精神革命の新風が吹 一行に日本から藤田、 ご一緒に北米での健闘を祈りたいと願っている。 寝食も忘れて献身していることを、ぜひ皆さんに 各民族間に新しい精神的共通基盤を築 平沢、 一行は、 いている。 長野の諸君が加わって、 偏見と憎しみ、 それは、 カナダに招待 欧州各国に大 分裂を生む アジア

世界を結ぶ、四つの柱、

一南北問題に

われわれはどう取り組むべきか

国連で経済・社会部門を担当 するイギリス代表マッケンジー 大年を省みて」と題する演説を 行なった。

まで、 経験して来た。最初は米ソ二大 イギリス国民 た一大テーマとなるだろう。」マ うかが今後われわれに課せられ そしてこの南北問題をどう扱 に一九八〇年まで続くであろう。 る時代であり、この時代はさら は低開発国の開発が進捗してい まざまの問題を提起し、一方で 貧富の差が顕在化し、これがさ 三番目が現在のように、 が次々に独立した時代、 次はアジア、アフリカの 大国の対立による冷戦 国連はその発足当初 面している南北問 概括すれば三つの時代を に対し、イギリス はこう前置きして の時代、 から現 南北の そして 殖民地 り組

って現れたのである る前進したイギリスの態度とな れが国連第七回特別会議におけ 相会議等を経て、 リカ首脳部との会談、英連邦首 して出来上ったのである。アメ イギリスの第三世界(発展途上 に飛んでトリユドー首相と会い を検討することを約した。昨年 リスがいかなる地位を占めるか 経済新秩序のなかで、 まさに出来んとしつつある世界 長期的な展望について再検討し、 関するイギリスの対外依存度の げ、特別委員会を設けて資源に 政府もわれわれの訴えをとりあ 七四年)五月にも本国政府に対 「われわれは既に一昨年(一九 「むろんまだ全面的な解決には 特にこの点を強く主張した。 月、ウイルソン首相はカナダ)に対する政策の大綱はかく 同年九月、 わがイギ

> ひとも必要だと強調する。 ケンジー氏は"四つの柱"がぜ る対話が成り立つために、マッ 主権国家の間で何らかの実りあ とのできない問題なのである。 題は、どうしても避けて通るこ まり、われわれにとって、南北問 などありえない』のであり、 かぎり、その社会の健全な繁栄 に貧しい状態にとどまっている ム・スミスも言っているように 『地域社会の大きな部分が極端 第一は教育である。 柱とは何か 国連に加盟する一四四か国の 四つ 0

なり、 ープである。 門的な職業を持つ人たちのグル 組合である。 もらわなければならない。この 々に説明し、 的に影響力を持つグループの人 実に直面している課題を、 ループとは、たとえば、 しかも緊密に影響しあっ それぞれ利害が異 実業界である。専 納得し、 世界が現 理解して 社会 労働

みの重要性を訴

程遠いと言わざるをえない。

『国富論』の著者、

アダ

ろう。

状態に突入せざるをえないであ

ている。ウイルソン首相が指摘したように、『こちらで給与があ がったといって喜べば、むこう で物価があがったといって悲し む』関係なのである。われわれ はこれを国際的規模においても い。一国の国民の給与があがる ということは、他国の国民の物 値があがるということを意味す る時代なのである。」

もっと率直になること。援助に第二は援助に関してお互 っていないのだが、この問題 された額の半分しか収穫はあが 穫 発展途上国の食糧増産計画につ の手には届かぬということだ。 手渡された金の約四割しか国民 言によればなんと外国からの援 ながら、あるインドの銀行家の 汚職はないのかと言えば、残念 のぼったことはない。それでは かって一 要求したい。汚職の問題など、 世界の側にも、『正直』の徳目を なるべきだ。 能額に対して今までより正直 与える西側工業諸国は援助の可 いてもしかり。 助額の約六割は賄路となって失 れるという。言 の間には 度も国連の場で議題に 大差があって、 援助を受ける第 額面と実際の収 いかえれば、 援助を

い。」国連でとりあげられたことはな

事な、 ならないと思うが…… も損をしたのではないという考 たかとかいうものの考えかたは としたいと思う。それはこう の警告をおくって深いいましめ そういう人たちに対して、 う人もたしかにいるにはいるが 変わることなどありえないとい されているということ。 も、国際的にも、『変化』が待望 的にも、 私個人としては、世界の富がす えかたに変わらなくてならない だれも負けたのではなく、 もう止めよう。長い目で見れば いうこと。 十年間で、 う言葉だ。『もしわれわれが現在 かの高名なキッシンジャ は神の慧知に知恵をもとめね く信じている。もっともそれに くすことは不可能ではないと固 いられ、少数者による搾取をな べての人を豊かにするために用 「第三は 「そして最後に、これが最 状態を変えることなくゆけば 基本的なことだが、 発想の・ 社会的にも、 誰が勝ったか、 世界は非常な混乱 換· が必要だと 国家的に 人間が 博士 経 も大

ヨーロッパから

π羕、卸元気ですか。 私はと 事

松

2

まわり、 なわれました。 から本格的な会がホールでおこ 同じテーブルでした。 飾られて、私はハワード夫人と テーブルが決められ、きれいに ラクター三台で牧場の中を見て お天気にも恵まれ、午前中はト 日曜日だったのですが、丁度、 五〇人程の人々が集まりました。 住む若い人々のための会で約一 されました。これはイギリスに ード夫人が大きなミーテングを に入ってヒル・ファームでハワ ても元気にしております。 皆様、 昼食はすべての人々に 御元気ですか。私はと 午後三時 四月

約四〇人、 地につきました。イギリス 変えておこなわれ、 大会がおこなわれました。この く出発して夕方オランダの目的 ルリン、そして、 リスのエジンバラ、 これも若い人々のための大きな スターのときにはオランダで、 イースター大会は、 四月十六日から十八日のイー イギリスを十六日の朝早 私はこれに参加しまし ミニバス二台と自動 今年はオラン 去年はイギ その前はべ 毎年場所を

車四台で行きました。オランダではあるミッションスクールをではあるミッションスクールを制とても充実したものでした。約二百人程のヨーロッパ各地からの若い人々が集まりました。「アジアの歌」の一行からは四人が特別に参加しました。藤田さんがその四人のひとりとしてさんがその四人のひとりとしてと藤田さんの二人が参加しました。

それには、パフフマン氏が話さ では西ドイツに住んでいます。 チエスの選手だった人で、 ッコスロバキアに住んでいて、 n 朝食のあとは大会がおこなわれ できるために組まれたものです。 プ集会がおこなわれました。こ 日目は朝七時三〇分からグル 人々の紹介がありました。 Aに会ってチェンジして、 人、個人が意見を述べることが いに親ぼくを深めるためと、 れは各国の人々がより深くお互 いろいろと建物の説明や各国の ました。この人は以前 まず第一日は開会の 挨拶と、 チエ 現在 M R 第 個

> です。 です。 です。

また、オックスフォードの青年グループが集会で、唄と寸劇をしました。これはガイダンスを持つかとか、なぜ信仰が大スを持つかとか、なぜ信仰が大スを持つかというものを短かい切であるかというものを短かいた。

中国語で唄ったそうです。その 日中両国の歴史の中で、 たと言っておられました。 とも心が溶けあって友好を深め 集会に参加していた中国の方々 いと言い、そして、日本の歌を 中国にあやまらなければならな です。そこで藤田さんが話し、 約六百名の人々が参加したそう ンで二日間大きな集会があり、 した。また、先週末にはロンド で参加するということをききま の一行に日本から青年がカナダ ても、とても貴重な経験でした すことができ、また、今夏、 藤田さんから、「アジアの歌」 での青年集会の足がかりとし 日本は

> 日までです。 - スはもう日本にとどいている 田待状を一通送ります。コーの 世界大会は七月十一日から九月 世界大会は七月十一日から二十五 年集会は七月十一日から二十五

現在、私はパリーに居ますが

カルガリー市は話に聞いていたよりはるかに温かく、また、たよりはるかに温かく、また、ので、まるで南国の夏のです。大地は広々としたたずまいをみせています。

三日間、

各国の若い人々と話

私たちは空港でインデアンの 社つの部族の酋長と知事による 独特の歓迎をうけました。そして、今までに幾つかの部族の居 で、今までに幾つかの部族の居 れ日、日曜日ですが、市の文 化センターで第一回の「音楽の 化センターで第一回の「音楽の ででては私たちは「アジアの歌」 を三分の二に要約し、それに新 を三分の二に要約し、それに新 をこ分の二に要約し、それに新 をこかの二に要約し、それに新

六月初めに一度、ケンブリッジにもどり、七月十日前後にイギリスからコーに行くつもりです。日本からは今夏の大会にどなたが参加されるのでしょうか。首を長くしてお待ちしています。(玉川大学学生)

滕 田 幸 久

置も発送準備がされているため「アジアの歌」が上演できなかったからです。ですから、すべて代用品で何とかまにあわせました。

リハーサルに費やした甲斐があって、従来の「アジアの歌」にって、従来の「アジアの歌」にをいただきました。この新しいをいただきました。この新しい程がどうゆう内容になるかが煮まっていきそうです。

エドモントン市までの日程は前にお知らせしたとおりですが、前にお知らせしたとおりですが、中は東部へ行く予定に変ります。中は東部へ行く予定に変ります。それ以後については今は白紙のそれ以後については今は白紙のお知らせします。

(元国会議員秘書、青年部会員

前は共産主義の思想の中で生き

ところで、

コーの大会のニュ

青年達が帰国するので、

舞台装

「私、このふしぎなもの」

陽光学院々長 山崎房

久し振りの日曜日の朝、細川 とこんでいる縁側で私は新聞を とこんでいる縁側で私は新聞を を記れている。

「お父さん、桜の花が咲いたりの信三が走ってきた。 昨年の秋、裏庭から植えかえたときはこの桜には根がほとんたときはこの桜には根がほとんたときはこの桜には根がほとんたときはこの桜にはできた。

りそうように咲いている。枯木のような枝にみどりの小さな芽が出て美しい八重桜が三さな芽が出て美しい八重桜が三のあとを追った。

不思議だなあ、暖かくなるとあのような黒ぽい枝から目がさめるような美しい花が咲く。大自然の営みであろうか。私はこの大地のいのちあるものすべての若々しくて力強い息吹きをこの桜に限らずこの小さな庭すみにも感じる。

この桜の花の美しさを生み出すごつごつした幹をなでながら、

音葉を忘れるほどの感動を覚えた。 言葉を忘れるほどの感動を覚えた。 言葉を忘れるほどの感動を覚えた。 に同じように私にも両親からもらったいのちがある。 そうだ。この八重桜を美しい と思い、その不思議さに感動する私という人間そのものこそ考えてみるともっとも不思議なのではないて我ながら驚いてしまったのだった。

考えてみると、この二つの目はもっとも技術の優れたどのテレビよりも性能がいいし、このできている。ロ、鼻、手、足のどれをとってみてもこんなに便どれをとってみてもこんなに便どれをとってみてもできているものとれかが少しでも故障すると全部が一致協力して治そうとと全部が一致協力して治そうと

違いなく我が家に帰ってくる。私は、朝出かけても夜には間

これは何でもないことのようだならない。過去を記憶し将来のならない。過去を記憶し将来のことまでも考えられる頭脳の働き。もし、宇宙人が地球にやってきたとしたら、そのときいちばん驚いて感心するのはこの人間を見たときだろう。まさに、奇なのかたまりが歩いているように思うだろう。

歴史の流れとともにこの地球 上には多くの人々が生れそして 死んでいった。それらの人々の 死んでいった。それらの人々の 死んでいった。それらの人々の でいうこの日々の流れのなかで、 いうこの日々の流れのなかで、 で真正銘、他人ではなく自分が 今ここに実際に生きていること。 この自分と全く同じ人物は過去 にも未来にも一人もいないとい うその自分の実存そのものが何 とも不思議でならない。

このように不思議で素晴らしくよくできている自分を、なぜ今まで不思議だとも有難いことだとも気付かなかったのだろうだとも気付かなかったのだろうだとも気付かなかったのだろうがまれて私はサイクリング車を近所の自転はサイクリング車を近所の自転

グ車は無残にも泥んこで庭先にたった或る日、そのサイクリンたった或る日、そのサイクリンと、言ってピカピカに磨いてと、言ってピカピカに磨いて

リング車と同じだ。私の目も耳も鼻もこのサイク

突然、私に目や耳が与えられるならば息子のサイクリング車るならば息子のサイクリング車ない。これらは生れてからずっとついているからむしろ当り前とついでいる。だからそれらをじないでいる。だからそれらをとても粗末に扱ってしまう。ひとても粗末に扱ってしまう。ひとても粗末に扱ってしまう。ひとたび病気になるとその有難さをいやというほど思い知らされるのだが。

あろう。

老人にならないように私たちは大自然の巨大で規則正しい営みのなかで生かされている。こののなかで生かされている。こので存そうに振舞っている。自分がつつまれている大自然、或いは私自身がこの一部なのかもしれない、そのことについてあまりに無知な自分が恥かしくてならない。

そう思いつつも、生れたときからずっと私といっしょだったがだ。それが大自然の恵みであいだ。それが大自然の恵みであいた。それが大自然の恵みであり、愛かもしれない。

「無事である今日一日が有難

仏教でいう悟りとは奇蹟のよりも心も洗われたのだろう。の花しづくでほこりっぽい私のかくなってきた。この美しい桜

といつまでも思い続けることではさをいつも新鮮に知ることではないだろうか。 信仰とはその自分の不思議さ 標明らしさを「有難いことだ」

そう理解すれば、「ありがたや うれしく帰るふるさとへ」と、 吉き残して八十才の生涯を閉じ た母の信仰心がほんの少し私に もわかるような気がする。 大自然の巨大で規則正しい営 かるなかで生かされている私が、

みのなかで生かされている私が、その大自然のいのちの声を静かに聴き、良心の声いもしれない、そのいのちの声に聴き従って人々の幸せのために生きようと日々努めることが、この信仰心をより深めることになるのではないだろうか。

それが行というものであろう。 私のような男がMRAに出合ったからこそこのような人間の幸せの本質に気付くことができ

っていった。の花びらはひらひらと大地に還さっと吹いてきたそよ風に桜

(S·51·4·28記)